

メディア室・メディアサロンの機器入替について

図書・情報館では、2014年春に、メディア室・スタジオおよびメディアサロンの機器入替を行うことを計画しています。また、これに伴い、クライアントPCの運用・管理システムについても見直しを図る予定です。

■メディア室・メディアサロン機器入替の理由

現在、図書・情報館〈情報部門〉が提供しているWindowsデスクトップ端末は、2009年度にリースにて導入したものであり、2013年度末に5年のリース期限が満了となる。また、Windows XPが2014年4月8日にサポート期限を迎えるため、2014年度に向け新端末・新OSへ入替を行う必要がある。

Macintoshデスクトップ端末についても、2008年度ないしは2010年度にリースにて導入したものであり、2013年度末にリース期限満了となる。(メディア室iMacは再リースのため6年、メディアサロンiMacは4年。) Mac OS X Snow Leopardのサポートもほぼ完了(注)しており、2014年度に向け新端末・新OSへ入替を行うことが望ましい。

このことから、2014年春にWindows・Macintoshとも機器入替(PCリプレイス)を行うこととしたい。

また、このPCリプレイスを機に、運用・管理システムについても見直しを行い、業務の効率化をはかることで、余力をより質の高い教育・研究・学習支援に振り向けていきたい。

(注)Appleはサポートポリシーを明言しておらず、基本的に1つ前のバージョンのみサポート対応する傾向にある。

■対象

・対象PC

- ・メディア室・スタジオ・メディアサロンのWindows・MacintoshデスクトップPC
- ・貸出用MacintoshノートPC
- ※貸出用WindowsノートPCは2013年度にリプレイス済のため、継続利用する。

・台数

リプレイス後のPC台数は基本的に現行と同数の予定。

<参考>現在のユーザ向けPC数

	メディア室	スタジオ	メディア サロン	小計	貸出用	合計
Windows	206	0	44	250	62	312
Macintosh	73	1	14	88	10	98
小計	279	1	58	338	72	410

※メディアサロンにはプレゼンテーションルームのPCも含む。

■基本方針

- ・リプレイスにあたっては、単純な入替にとどまらず、主に以下の3項目をねらいとする。
 1. トラブルの少ない安定したシステムを導入すること。
 2. 起動時や画像・映像編集等の高負荷な作業等において、ストレスなく利用できるようにすること。
 3. クライアントPC運用・管理の利便性やメンテナンス性を向上させること。
- ・図書・情報館では情報環境事業費では広く全学で使用する機器・ソフトウェアを調達する。特定の学科や授業にて使用する機器・ソフトウェアは、教学支援室に要望を挙げてもらい調整をはかる。(2010年度第7回運営会議にて確認済)

■主な変更予定（ユーザ向け）

<共通>

- ・基本となるソフトウェア（「Microsoft Office」「Adobe Master Collection」等）については継続するが、PC の起動・動作速度を上げるため、並びに費用見直しのため、現在導入しているソフトウェアやライセンス数を見直す。

<Windows>

- ・OS は「Windows 7 Professional SP1 64bit」とする。（現行：「Windows XP SP3」）
※リリースから4年経過し、運用・管理技術が安定しているため。昨年度「Windows 8」がリリースされたが、これまでのインターフェースと大きく異なり、運用・管理技術も発展途上であることから避けたい。
- ・Office 製品は「Microsoft Office 2010 または 2013」とする。（現行：「Microsoft Office 2007」）

<Macintosh>

- ・OS は「OS X Mavericks(10.9)」(2013 年秋頃発売予定) とする。（現行：「Mac OS X Snow Leopard(10.6)」）
※Macintosh は、基本的に新 OS 発売後は以前の OS が入手不可となり、最新 OS 以外の選択肢が存在しない。
- ・Office 製品は「Microsoft Office 2010 または 2013」とする。（現行：「Microsoft Office for Mac 2008」）

■スケジュール

実施時期	スケジュール	運営会議
2013 年 7 月	基本方針策定	基本方針を審議
8～9 月	業者提案	
10 月	納入業者決定・プロジェクト開始（上旬） 基本仕様検討および決定	納入業者報告・基本仕様審議
11 月	詳細仕様検討および決定	詳細仕様審議
12 月	2014 年度事業計画・予算案に反映	事業計画・予算案報告
2014 年 1 月	ハードウェア&ソフトウェア調達	
2～3 月	PC 更新機器納入・セットアップ	
3 月下旬	メディア室試用期間	
4 月	新 PC 運用開始	

■その他

- ・機器およびソフトウェアの調達方法

単年度支出を抑えるため、従来通り、リースでの調達を想定している。

但し、補助金獲得の観点や、リースにした際のソフトウェア使用权の問題（リース満了後は販売業者に所有権が戻る）から、一括買取を行う可能性もある。

以上